

あなたの投稿、チェックイン、写真、動画

Facebookでシェアした写真、動画、テキスト、近況アップデート
2026年6月28日 日曜日 17:26 UTC+09:00に Kenji Yonedaさんが作成しました
2026年2月1日 0:00から2026年2月15日 0:00までに リクエストしたデータが含まれています

米田 健二さんがリンクをシェアしました。

<https://media4.giphy.com/media/v1.Y2lkPWJlMzAyMTE3eWxxdmszemR3bzh0c2tcXN4YzZxMHkwaXQyeTRndXBjbDJqN3A4bSZlcD12MV9naWZzJmN0PXM/21PXw9mVz1HrtX6YBv/giphy.gif>

2月 01, 2026 6:37:17 AMに更新

2月 01, 2026 6:37:17 AM

米田 健二さんが写真6件、動画2件を追加しました。



写真

チェンマイ4日目は温泉。車で1時間ぐらいのところにサンカンペーン温泉がある。足湯と裸で入れる家族用の風呂、水着で入るプールのような風呂の3種類がある。
今回のメンバーは10人なのでホテルの前からgrabで大型のバンを選んだ。降りるときに帰りの送迎も依頼。ここはgrabアプリではなくドライバーと直接交渉。3時間後といって待機してもらうことになった。待たせておきながら帰路は往路より安く交渉をして成立していた。
温泉ではまず温泉卵を作る。10分ほどで、皮をむいてみると半熟よりやや柔らかい感じ。
ここは公園ようになっていて温泉が噴水のように噴き出しているところがある。その近くで温泉卵を作る池のようところがある。そこから公園内を蛇行しながら温泉川が流れている。
その川が足湯になっていて下流に行くほどぬるくなる。
足湯もそこそこ深く、子供たちがプールのようにして遊んでいるところもあった。30分ほどつくと汗が出てきて足もつるつるになって気持ちよくなった。
みんなは水着に着替えて温泉プールへと向かっていったが、私は水着は持っていたが面倒になり、タイ式マッサージを受けた。
バンコクで2回受けていたので3回目だ。
150バーツなので750円。温泉に入らなかったほかのメンバーは足つぼマッサージをしている。30分のつもりだったようだが1時間と相手に認識されていたようで1時間のマッサージトになっていた。
公園内を散歩していたら、別のメンバーに合ったので、ビールを飲みながら話をして過ごした。この公園で2本目。
プールやマッサージを終えたメンバーと合流し公園内で食事。ここでもビール。
食事をしているとドライバーがやってきて、「まだなのか」と文句を言っている様子。

ホテルに戻って、しばらく休息。この後はムエタイ（キックボクシング）の観戦を予定している。ムエタイは21時から2時半までと遅いので、まずは腹ごしらえ。
皆で焼肉？を食してgrabでボクシングスタジアムへ向かう。
民族楽器のような笛で儀式の前のような音楽が鳴り響き、選手がお辞儀をしたり体をくねらせたりしながら試合前のお祈り？をしている。
全部で7試合あるようだが、最初の試合は子供。小学5年生ぐらいの体格だ。なんとなく痛々しい。
2試合目は女子。手足は長いスピードが遅く、いつになったら本気になるのか？と思っていたら試合終了。
5試合目ぐらいにメインイベントの試合があった。あっけなく終了。
日曜日を除いて毎日開催されている。選手たちも毎日ではないだろうが、かなりの試合数をこなしているに違いない。毎回本気でやっていると思えないだろうな・・・と思いながら観戦。
残り2試合を残したところに試合会場を後にした。

帰日もgrabに分乗してホテルに戻った。

2月 12, 2026 5:27:44 PM

米田 健二さんが写真23件、動画4件を追加しました。



写真
ドイ・インタノン国立公園のメークラ滝

写真
ギランイヌビワ（イチジク科）の果実 美味しくないらしい。

写真
現地ツアーの昼食

写真
カレン族の集落 外壁は竹で作られている



写真
家畜が放し飼いにされている



写真



写真



写真



写真
コーヒーとハーブティ 青いお茶がまずい



写真
台湾からの夫婦 少しだけ仲良くなった



写真
アメリカから一人旅の女性 少しだけ仲良くなった



写真
ドイ・インタノン国立公園の山頂付近 この山がタイの最高峰 (2565m)



写真



写真
オーキッド（欄）の花



写真
台湾人夫婦に撮影してもらった。



写真



写真
パゴダ（仏塔）



写真



写真



写真



写真
モン族の市場



写真

機織りしている様子

自転車のヒルクライムレースをしていた

昨日、現地ツアーでトイ・インタノン国立公園行きを予約できたので、本日はドイ・インタノンへ向かう。片道2時間強で国立公園に到着する。公園近くにゲートがあり、一人400バーツを支払う。このように入場料を取るというのは公園の保全などを考えると良いことのように感じる。

最初に向かったのはメークラウン滝。滝に向かう道にギランイヌビワの果実が沢山落ちていた。帰りを見ると木の幹にいきなりたくさんの実がついていた。中身はイチジクのような感じだった。後で調べてみるとイチジク科の植物だそう。

ガイドに聞くと身は不味くて食べられないが、釣り針に付けて魚のえさにするとよく釣れるという。少し過ぎたところで昼食となった。長テーブルに全員が座る約25名ぐらい。大半は家族、夫婦、友人などのグループで来ているがおひとり様も2人ぐらいはいちたと思う。グループで来ている人が固まって座れるように配慮して席に着いた。お隣はアメリカ人の女性。正面は国籍不明の男性。

勇気をもって話しかけてみる。それまではテーブル全体が押し黙っていたのが話しかけたことをきっかけに話し声が聞こえ始めた。楽しいのではあるが、英語力が無いので少し長くなると脳が疲労し始める。話をやめてくれないのでちょっとしんどかった。

次にカレン族の集落を訪れる。電気は最近通ったらしいがガスはなく薪の生活だそう。住居の壁面は竹でできている。

コーヒー栽培と機織りが産業という話だった。スターバックにもコーヒー豆は販売しているとの事であったが、買ったたかれて貧しい生活が続いている。中に少しきれいな家があるが、そこは日本や韓国に出稼ぎに行った人がいる家庭だそう。犬が沢山放し飼いになっている、鶏もヒヨコを連れて歩いている。

豚の母親が横たわると10匹ぐらいの子豚が乳房にしがみつく。非常にのどかだ。暮らしている人も落ち着いた感じがいい感じ。

コーヒーとハーブティの試飲があったがコーヒーの黒、ハーブティは赤、黄色、青の3色。それぞれ死因をしたが青が不味く、黄色はコーンのような香りがして優しい感じ。

隣にいたが台湾人の夫婦、この人たちとも少し仲良くなったので後々写真を撮ったり取ってもらったりして楽しく過ごせた。

ここ、ドイインタノンのはタイの最高峰であり少し寒い。2565mあるそう。その中でも有名な「王と王妃のパゴダ」を訪問。

非常に美しい景色に感動した。

下界は曇っている。ガイドによると焼き畑などによる大気汚染だという。

最後にはモン族の市場に立ち寄り帰路となった。市場ではイチゴを1パック購入60バーツ（300円）。安い。おいしい。
旅行に出るといつもフルーツが食べたくなる。
朝8時から夜7時までのツアーであったが、ホテルに到着する寸前で同行者から「今ここにいる」とラインが届いたので、ホテルに到着するや否や、バイクタクシーで向かった。
よく食べ、よくのんだ。

2月 09, 2026 9:26:11 AM

米田 健二さんが写真13件、動画2件を追加しました。

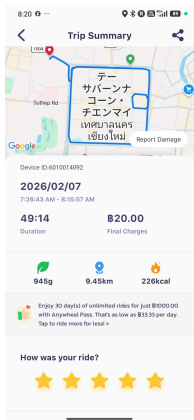


写真
ターペー門近くの市場

写真
ソンテウ 約1時間山の上のお寺 ドイステープへ向かう

写真

写真



写真
早起きしてサイクリング 四角い枠内が旧市街。



写真
お坊さんと



写真



写真



写真

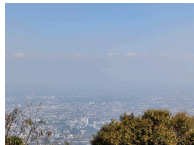


写真
ドイステープからの景色



写真
選挙の前日 アルコー
ルの販売は禁止とな
る。コンビニのビー
ルの冷蔵庫にも張り
紙が・・・



写真

チェンマイ2日目は少し早起きして自転車で旧市街を一周する。この街は1辺が約2kmの堀で囲まれた旧市街を中心としている。anywheelというシェアサイクルがあり、アプリをダウンロードしてお金をチャージしておけばアプリでQRコードを読み込むだけで開錠ができる。一時駐輪は普通に手で鍵を閉める。返却するときは施錠したうえで専用の駐輪場にあるQRコードを読み込む事で返却は終了する。30分10バーツ（50円）だ。
昨日食べたお粥をもう一度食べたかったので、お粥屋さんの前で駐輪し10分早々で平らげた。一時駐輪は10分間は時間のカウントが停止する。
ターペー門（ホテルから一番遠い位置にある門）で駐輪し、市場を見学。アジアの市場は活気にあふれている。子供の頃は日本でも似たような市場（かなり小規模）があったような記憶がある。
アジア圏に旅行に行くと必ず一度は市場に足を踏み入れる。
次に訪れたのは旅行代理店。現地ツアーを申し込むためだ。
行きたいのはドイ・インタノン国立公園。あらかじめネットでツアー料金を調べた上で訪問。値段が高い。ネット販売の物と内容は変わらないのに1.5倍ぐらいの値付けがされている。
旅行前の情報では、現地で直接申し込んだ方が安いと聞いていたがそうではなかった。
ホテルに戻ってからネットで申込。
購入はできたがピックアップポイントの指定で戸惑った。
ピックアップポイントは堀で囲まれた旧市街のエリア内となっていて、エリア外の住所は受け付けない。ホテル名を入れると候補ホテルが4件出てきたが同じ系列のホテルで自分の止まっているホテルではない。
やむを得ず、ホテルから最も近い堀の角をマップ上で指定した。
バウチャーがメールで届いたが、詳細なピックアップ時間は旅行実施会社からの連絡を待て。とされている。
翌朝の事でもあり、実施会社へ実施時間についても確認メールを送ったが返事はなく夕方にアプリから再度問い合わせをした。気が気ではなかったが、夜7時ぐらいに問題は解決。ピックアップもホテルまで来てくれる事になった。
そんなことで1日中不安を感じながら過ごしたわけであるが、今日は1日旅行グループのメンバーとともに行動。
この地で最も人気のカオソーイ（麺）の名店カオソーイメーサイに行く。きれいな店ではなくまさに地元の人たちが

の店という感じ。込み合っている上に14名という大所帯であり、入店迄20分ほど待つことになった。メニューは壁に貼ってあり、8種類ぐらいあった。分からない時は1番最初に表示されているものと決めているのですねに決まった。カオソーイ ウイズ チキンで柔らかく煮た手羽元が入っていた。大変美味しい。満足して退店後に向かったのはワット・プラタート・ドイステープ。標高は1080m。ソントウをチャーターして現地向かった。料金は2000バーツだそう。さすがに高さがあるので、途中何度か耳に違和感を感じた。現地に到着すると数十台のソントウが停車していた。そこから300段あるという階段を登る。リフトもあるのでリフト組と階段組に分かれて訪問。階段を選択したがさほど息切れする事なく到着。ここもたっぷり時間があつた。下界の景色を眺めたり。お寺に入ったりして過ごした。帰りはホテルから歩いて15分ぐらいのところにワンニマンで下車。お土産の購入などで時間を過ごし、皆で中華料理をいただいた。皆買い物大好きだ。どこへ行っても「ちょっと待って」と言って何かを物色している。いつもの弾丸トラベルと違って新鮮さを感じた。中華料理屋で想定外の事件があつた。「ビールいる人？」と声がかかり皆手を挙げた。人数を数えて注文したところ、「明日は選挙なので、アルコールの提供はできないという」冗談か？と思ったが本当らしい。大人になってから会食で、しかも本格中華で、アルコールなしははじめての経験かもしれない。歩いてホテルへ戻る道すがら、左右の店（バー）は明かりが消えている。最後の皆とセブンイレブンに行ったが、ビールの冷蔵庫にはスクリーンが下りていて張り紙が貼られている。皆、落胆してホテルに戻っていった。実は私には昨日からビールの買い置きがあつたのでラッキーだった。これが今日一番の出来事であつた。

2月 08, 2026 7:46:31 AM

米田 健二さんが写真12件を追加しました。



写真
チェンマイ駅

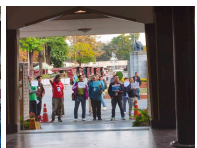


写真
チェンマイ駅 タクシーやソントウ（乗合タクシー：トラックの荷台のようなところに乗る）の客引きが大勢



写真
お粥で有名、ジョーク・ソムベット 写真ではきれいに映っているがそれなり。



写真
お粥。大変美味しい（翌日もここであつた）



写真



写真
旧市街のお寺 わつとブラシン



写真



写真



写真
3人の大王記念像 チェンマイの街を建設したメンラーイ王、ラムカムヘン王、ンガムムアン王が祀られている



写真
ターペー門



写真
フルーツボウル（市場にて） おいしい



写真
ソントウ

チェンマイに到着すると、まずは朝食。おかゆを食べると決めていた。評判の良いお粥のお店、ジョーク・ソムベットを目指す。駅前ではたくさんのドライバーが客引きをしているが、それには目も向けず、grabでバイクを予約した。3分ほど待つとバイクが来たのでバイクに乗る。3kmぐらいなので近いと思っていたら案外遠かった。この町は旧市街を堀が取り囲んでいて堀の内側と外側で夫々逆方向の一方通行になっている。目的地が見えても次の橋まで進んでUターンする事になる。

お粥は大変美味しかった。店の雰囲気は東南アジアらしいお店で、屋台のように汚くはないが、日本のレストランのようにきれいでもない。店内の写真を撮ったが、結構おしゃれなお店のように映っているので驚いた。

今回はここで旅行クラブのメンバーと合流する。合流後皆歩いてワットブラシンへ向かう。今回のリーダーはチェンマイが好きですでに10回以上チェンマイへきているという。ところどころで解説を入れてくれるのでありがたい。ワットブラシンの後は近くのレストランでマンゴージュースを皆で飲む。会計が合わず少しトラブったが感じのよいお店であった。隣にはバイクのレンタル屋、マッサージ屋があつた。マッサージは1時間300バーツ（1500円）とバンコクより若干安い。目的地が緩く時間を気にせずのんびりお店を見たりしながら街歩きをした。いつも次の目的地を考える自分の旅行スタイルと異なりリラックスできる。三王記念像で記念撮影をし昼食のお店を探す。三王とはチェンマイの街をつくった三人の王様の像という事らしい。食事の後は、フルーツボウルが美味しいという事で市場の中でフルーツボウルを提供しているお店を目指す。本当に市場の中のお店で装飾は一切なし。11人もの客を受け入れるのはほとんどないと思われる。お店の人は見事に手際よくフルーツを刻んで更に盛り付ける。美味しい。果物市場に行くといつも思うのだけど、旅行者向けに詰め合わせバックなどを提供すれば良いのにと感じる。安い

と言っても旅行中にミカン1袋20個などと言われても買えない。
ホテルに持ち帰っていろいろな種類の果物が楽しめるような詰め合わせを販売してくれればいいのに、、、
その後、ソントウに乗ってホテルに戻り、皆で夕食へ行くことになった。ソントウとはトラックの荷台に椅子と屋根を付けたような乗り物で、フィリピンのジブニーに似ている。ジブニーは路線が決まっているがソントウは乗り合いタクシーのようなもの。行き先を運転手に告げ、値段の交渉がまともれば乗車する。面白い。

2月 07, 2026 11:07:06 AM

米田 健二さんが写真26件を追加しました。



写真
暁の寺



写真
暁の寺 朝、早すぎては入れなかった。



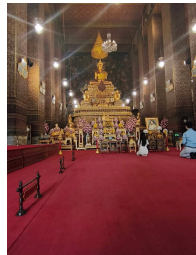
写真
通用口に回って、入場を試みたが入れてくれなかった。



写真
涅槃寺。ルーシーダットンというヨガのようなものをこの石畳の上で体験



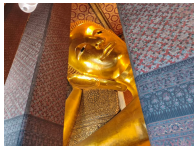
写真



写真



写真
仏像も横になっている



写真



写真



写真



写真
ワットブラケオと王宮



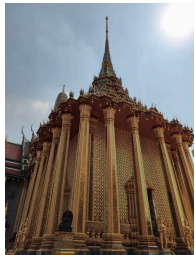
写真



写真



写真



写真



写真
王宮の守衛さんと「一緒に写真撮っていいかい？」って聞くと正面を向いたまま眼だけ少し動かしてOKしてくれた。



写真
サーラーチャレーム クルン王立劇場



写真
KHONという劇を鑑賞



写真



写真



写真



写真



写真



写真
サオチンチャー。巨大な鳥居と思っていたがヒンドウ教の儀式に使われるブランコらしい



写真



写真

バンコクからチェンマイへ向かう夜行列車。
中国製の新型車両ではあるが、2段ベッドの上段ですぐ上に蛍光灯があり、カーテンの遮光性も低く眠れなかった。

早朝より暁の寺へ向かう。バイクタクシーだ。
暁の寺というほどなので、明け方が美しいのだろうと思い、薄暗い時間であったが出発した。
バイクの後ろから遠目に眺めた寺はライトアップされていて美しい。
ところが、現地に着くと8時半にならないと入れないことが分かった。
せっかくなので寺の前の食堂で、朝がゆでもと思ったが粥は無し。代わりに勧められた肉団子と野菜の入ったスープをいただく。
一旦ホテルに戻り、チェックアウト。荷物をストレージに預け涅槃寺へ。ここでは8時からルーシダットンというヨガのようなことを体験できる。不思議な事に入寺時間は8時半から。掃除をしているおじさんに聞くと、自販機でチケットを買って入れという。
参加したのは3名で全員日本人。片足で立った状態で一方の足を後ろ側でつかむ姿勢があるが安定しない。びよびよんと片足でふらふらしている。おかげで汗だくになった。
体験の後は寺の見学。有名なのは横たわった巨大な仏像。ひんやりした床の上に肩肘をついて横たわっている姿はうらやましく感じる。
次に王宮を訪問する予定であるが、王宮とセットでサーラチャレームク룬王立劇場の間隙チケットもついていいる。王宮は一見の価値あり。飾られた建築物の群は見事。世界中どここの国も王様と宗教の建造物は凄い。どれだけの労力を使ったのか計り知れない。劇場まで少し距離があるのでシャトルバスが運行されている。観劇はKHON（コーン）というタイトルだ。勧善懲悪の話の様で30分程度の劇であるが見に来てよかった。観劇は今回のバンコクの主目的であった。
しばらく、ストリートアートや大きな鳥居のある寺などを見て回った後、カウサン通りにもどった。昨日のタイ式マッサージをもう一度受けたかった。この日のマッサージは途中足で踏むような技もあり、疲労の中心迄刺激が届いた。
今日の夜行列車は18:40発。少し早めに駅に向かう。MRTまではバイクタクシーだ。一度使い始めると、歩くのが嫌になる。

駅でお弁当を買って、列車に乗り込んだ。アルコールは禁じられている。駅でも販売していない。今回の列車は中国製の新型車。揺れも少なく快適であるが、夜中になっても証明を落とさない3時間ぐらいは寝たが後は眠れない。7時過ぎにはチェンマイに到着予定だ。

2月 06, 2026 6:48:08 AM

米田 健二さんが写真22件、動画5件を追加しました。



写真



写真



写真



写真



写真



写真



写真



写真



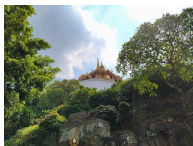
写真



写真



写真



写真



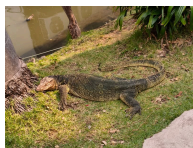
写真



写真



写真



写真



写真



写真



写真



写真



写真



写真

マレーシアからタイへの移動はバダン・ブサルになる。駅のコンコースから階段を降りると出国カウンターがあり、通過後そのまま進むとタイへの入国カウンターがある。手続きはいい加減で、登録必須と言われているアライバルカードなどの提示も求めない。シンガポールはパスポート情報と紐づけられるので提出は不要、マレーシア入国時は提示を求められた。タイでは全くなし。

無事入国して列車を待つ。出発時間になっても列車は来ない。入国手続きも継続している。

列車が遅延する事が前提でスケジュールされている。

結局列車は1時間遅れ。

退屈のぎで、待合室で隣に座ったおばさんが話しかけてきた。娘がベナンの病院で手術を受けたそうで、そのため娘さんに会いに行っていたという。盲腸の手術だったそう。タイのハタヤイに住んでいるという。片道4時間ぐらいか。

列車が到着してきた。

3両か4両編成の短い列車だ。外側は掃除をした事が無いぐらい汚く汚れて黒っぽく見える。ガラスも汚く中が薄暗くぼんやり見えるだけ。

中からもガラスが汚く、せっかくの景色も楽しめそうにない。ただし夜になればベッドになるであろう座席は広く快適だ。

9時頃にどこかの駅に着く。物売りのおばさんたちが一斉に乗り込み何か売っている。

ここで先ほどの投稿のフライドチキンを購入。

10時にはベッドメイクに来た。早く横になりたかったのでうれしい。きわめて手際よく2段ベッドが作られた。

最後尾には洗面所があるが、使うのが怖い。歯磨きはペットボトルの水を使った。

トイレは、驚いたことに和式の便器があった、下を見ると線路の枕木が見える。

何度か目が覚めたが非常によく眠れた。やや狭いシングルベッドぐらいの幅があり狭くもなかった。

バンコクに到着して驚いた。列車が18~20両ぐらいの編成になっていた。席も満席に近く、いつ乗り込んだのか？いつ連結したのか？全く気が付かなかった。

到着後はMRTに乗ってバンボー駅へ向かう。そこには栈橋がありそこからチャオブラヤ川を南下し、カウサン通りのホテルへ向かう。カウサン通りはバックパッカーの聖地と言われるエリア。

ホテルに荷物を預けて通りを歩く。

空腹を感じたのでレストランへ。

トムヤンクンをオーダー。中に繊維状の竹のようなものが入っていて噛むとミントのような香りがする。

朝なので客は少なかったが、数人の客は決まってビールを飲んでいる。朝10時半ではあったがビールも追加。

朝から汗をかいていたので大変美味しかった。

そのあとはワットサケットを訪問。山全体が寺になっている。

てっぺんからバンコクの町を眺め、次の目的地へ移動する。

ジムトンプソンの家であるが、シルクで富を築いたジムトンプソンの家を博物館にしたものである。

実は特に興味はなかったのであるが運河を通るボートに乗りたくて運河沿いの観光地を目的にただけだった。

単に中を見学するだけではなく、言語別にガイドが付いてガイドツアーに参加する形式。約45分間見学した。

なかなか良かった。

そのあともう一度ボートに乗って、ダウンタウンを経由してルンピニ公園へ向かう。

日本では動物園や水族館でしか見えないようなオオトカゲが普通にいて驚いた。1匹や2匹ではなく悠々と泳いでいるやつもいる。

観光地というよりバンコク市民の憩いの場と行ったところ。かなり広く手入れも行き届いているので、近くに住んでいれば頻繁に出かけるかもしれない。

熱さや歩きすぎでさすがに疲れたのでMRTでカオサン通りの最寄り駅に向かう。バンコクのMRT（地下鉄）はクレジットカードをダイレクトにタッチすれば乗れる。いちいち切符を買う必要もなく便利だ。特に外国人にとっては便利だ。路線を探すのにも苦労するし、駅名は読めないし買い方も国によって作法が違う。

ただし多くの人はクレカではなく鉄道用のカード？を使っているようだった。

カオサン通りについて食事となるが、パッタイを食した。タイ風焼きそばである。のびて腰のない麺が胃にやさしい。店頭の屋台でおばちゃんが一生懸命作っている。おばちゃんにチップをあげたら、すごくいい顔で微笑んでくれてうれしい。

ホテルはカオサン通りのど真ん中。

サソリやトカゲの肉を売りあるいている人や、レストランの客引き、タイマッサージの勧誘。ホテルにたどり着くまで何人にも声を掛けられる。

タイ式マッサージに行く。

30分160バーツ（800円）。メチャ気持ちよかった。何年も前に足つぼマッサージをしてもらったがイマイチだったのタイ式マッサージにした。

セブンイレブンでビールと翌朝のサンドイッチ、ヨーグルトを買って帰る事とした。

ホテルにはアメニティがあるがこのホテルのアメニティには耳栓がある。

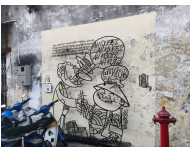
ここはカウサン通り。夜中の2時頃まで大音響で騒ぎ倒している。朝でも全く静かではない。何度か目は覚めたがよく眠れた。

2月 05, 2026 7:13:53 AM

米田 健二さんが写真28件、動画2件を追加しました。



写真
アルメニアンストリート付近のストリートアート このような金属ワイヤーで作られたものも多い



写真



写真



写真



写真
壁にバイクを埋め込んでいる



写真



写真



写真
消防署もおしゃれ



写真
ヒンズー教の教会の近くの通り



写真
ヒンズーのお祭りに遭遇



写真
その先のお寺まで行くと教えてくれた



写真
どこから来たのか？と聞かれました 月に
関するお祭りだと言っていました



写真



写真
お祭りの中でもらった紅茶とナシレマ



写真
このナシレマはエビ味 魚、豚、鳥など何種類がある。バナナの葉で包んだおにぎりのようなものだけ
どとてもおいしい。



写真
Sri Weld Food Court(ホーカーセンター：屋台)



写真
朝なのでしていた



写真



写真



写真
クラン・ジェッティー(水上住宅) お土産店が並んでいるが、実際にここで暮らしているので朝9時には入場禁止となっている



写真



写真



写真
宿泊したホテル



写真
ジョージタウン(ペナン島)を後にフェリーで駅に向かう。対岸のバタワースからKTM(通勤列車)に約2時間乗って国境駅のパタン・デサー
ルへ向かう



写真



写真
パダン・デサル駅
の出入国カウンター
入口 ここから階段を
降りるとマレーシア
の出国カウンターが
ある



写真
マレーシアの出国カ
ウンターを過ぎて20m
ぐらい進むとタイの
入国カウンターがあ
る



写真
1時間以上遅れて列車
が到着

ヒンズー教のお祭り

今日は夜行列車でバンコクまで移動する。到着は明朝10時半ごろになると思う。列車は1時間遅れて出発した。出発は18時。
7時にホテルをチェックアウトしてフロントに荷物を預かってもらう。
最初の行き先は、Sri weld food courtというホーカーセンターを予定していた。
ホーカーセンターに向かう途中、壁画（ストリートアート）が沢山ある通りに出くわした。ラッキーである。朝の街は涼しくとても快適。そしてきれいだ。
金ぴかの山車を発見。大勢のインド系と思われる人が大騒ぎしている。「お祭りなのか？」と聞くと「そうだ。月に関するお祭りだ。」
どんどん雑踏の中に入っていく。お祭りは最高潮になっている。
ヒンズー教のお祭りらしい。そこを曲がったところのお寺まで行くんだ。という。歩いているとお祭りの関係者と思われる人が紅茶の紙パックをくれた。みんなに配っている。
軍隊っぽい制服を着た数人のメンバーがいた。警察の制服とは明らかに違う。何者？聞いてみた。セカンドレインジャーという。なんじゃそれ？聞いてみた。レインジャーは山の中にいて安全を守る。我々セカンドレインジャーは街の安全を守っているんだ、、、。定年退職をしたボランティア？？？こんな感じと勝手に理解した（ほんと、そんな感じ）。
トラックに乗ったお巡りさんと記念撮影をしてこの地を離れる。

話を元に戻そう。ホーカーセンターの話だ。
ここを選んだのはバナナの葉で包んだナシレマ（ちまきを大きくした感じ）が目的。何種類かあったが、魚は外すと怖いので海老にした。
あいているテーブルを見つけバナナの葉を広げるとお皿になる。
とても美味しい。干しエビを甘辛く煮たものが入っている。
昨日のラーメンもそうであったが、ここは干しエビが美味しいのかも、、、
おばさんが近づいてきてテーブルの上の張り紙を指さして何か言っている。テーブル利用は有料らしい。1リンギット払って、張り紙を見ると、飲み物をオーダーしない場合は1リンギットと書いてあった。飲み物のオーダーを取りに来たのでお代わりしようと思ったが、別のところで美味しそうなものがあったときに残念だし、絶品で満足できたので終了とした。
次の目的地はリトルインディアであったが、さっきのお祭りをやっていたのがリトルインディアだったので、googleMapでめばしいところを探す。
chew jettyに立ち寄る事とした。ここは水上の住居。観光地化しているが本当に人が住んでいる。8時40分ごろに到着。入口には9時前には入らないで、、と看板がある。
時間があるので適当に歩く。昨日通ったアートな通りに出た。
ここで気が付いたが、見どころは案外狭い位置に固まっている。漠然と歩くのではなくきちんと見どころを押さえて計画的に回れば効率よく時間が使えたのにと昨日を後悔した。
9時になったので住居地区に入る。特に変わった物は無し。
さて、9時半になったので外貨をgetしに両替店に行く。昨日両替してお店はこの地域で最も良いレートだったようだ。今度はそこで円をタイバーツに変える。
5000円を出すとしばらくして3700バーツよこせという。渡すと1000バーツ紙幣を1枚くれた。崩してくれという細かいものが無いと言われあきらめた。
今回のバーツは列車の中で車内販売で色々楽しむための資金でレートが良い悪いは関係ない。1000バーツは高額紙幣で車内販売では断られるらしい。財布の中には37リンギット（1300円）しかない。これで昼夜（弁当）飲み物はキツイ。
荷物をピックアップしてフェリー乗り場へ向かうgrabカーだ。フェリー乗り場に着いた。さっきの水上住居のすぐ近くだった。
対岸へは7～8分。ここから通勤で国境の町（パダンブサル）へ向かう。約2時間。横長の座席。ほとんど人はいないので。靴を脱ぐ。気持ちいい。胡坐で座る。リラックス。靴下も脱ぐ。開放感。とリラックス。人が乗ってくるとこの逆を進む。
パダンブサルに到着。とにかく昼飯。駅前から10分ほど歩くと市場や小さなモールがある。
大きな建物に小さな屋台のような店をギュッと詰め込んだような店。クレカ使えるか聞くと使えないという。ここで虎の子の37リンギットを無駄に消費できない。
両替店を探すが見つからない。お巡りさんに聞いても分からない。誰に聞いても分からない。駅の売店に朝と同じちまきのような食べ物が売っていたので魚のちまきに挑戦。残りのお金で晩飯をここで調達するしかない。
待合室にATMを発見。一瞬喜んだが、ここでお金が出るのはタイバーツではなくリンギット。
まあ、無いよりいいだろうという事でATMでお金を引き出す。wiseカードなので利息はかからない。金額を入れる欄で1000or2000（or other）とある。そんな大金？と思い訳が分からなくなってキャンセルしたいがボタンは無し。ごちゃごちゃやって200と入力した。分厚い束のお金が出てきてビックリ。
売店でカレーっぽい弁当を作ってもらい、スナックと水を買った。結局37リンギットで足りていた。
使えないと言われていた1000バーツ。車内販売でフライドチキン売りに来たおばちゃんに1000バーツだけいいかと聞くと、使えるという。1つと指さしたら3個ビニールに入れられ100バーツという。
晩飯はお腹いっぱいではなくなったが、面白かった。

（写真は後ほど）

2月 04, 2026 2:28:48 AM

米田 健二さんが写真21件を追加しました。



写真
アルメニア通り



写真

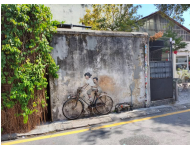


写真
ストリートアート 壁
に半分自転車埋ま
っている



写真



写真
プラナカンマンシ
ョン ガラス工芸



写真
プラナカンマンショ
ン



写真



写真
泰伯公廟 キングスト
リート



写真
セントジョージ教会



写真
Town Hall 1880年代
に建てられた市政庁
舎



写真
ペナン市庁舎 イギリ
ス植民地時代に建て
られた



写真



写真



写真
クイーン・ビクトリ
ア・メモリアル時計
台



写真
観音寺



写真
カピタン・クリン・
モスク 1801年にイン
ド人の商人が建てた



写真
888Hokkien Prawn
Mee & Lor Mee (屋
台) というお店 ホー
カー (屋台) で注文
するときは店頭のメ
ニューを写真で撮っ
て注文する。



写真
ホッケンミー (蝦出
汁のスープ麺) 甘辛
く味をつけた小エビ
を干したものでだし
をとっている。今回
の旅の中で食べた
ものの中で最も美味
しかった。



写真
店内の様子



写真
きれいに映っている
がこんなにきれいでは
ない



写真
完食 スープまで全部い
いただきました

ペナン島は街並みも良い雰囲気と聞いていたので、はっきりした予定を立てなくても街歩きをしているだけで、見どころにぶち当たるようなイメージを持っていた。行ってみると、とてもそんな感じではなく、普通の東南アジアであった。ジョージタウンというおしゃれな名前が誤解を強めていた。

ホテルに荷物を預けて外に出た時間が11時を過ぎていた。少し早いしお腹もすいていなかったが、まずはランチと思い人気の現地フードの店を探す。

この地は色々な文化が混じっているので現地料理と言っても、インド料理系か中華料理系となる。見つけたのはインド料理系の店であったが、MAP通りの場所にその店は無い。

別の店を探したが、店が営業しているのかしていないのかも分からないような店が多く結構歩き回った。そのおかげで、有名なストリートアート(自転車の壁画)を見ることができた。

近くにインド料理の店を見つけ、店頭で順番待ち。スタッフらしい人から一度声を掛けられたが何も指示はない。前に並んでいた人がしびれを切らして勝手に場所を確保。

その人が、お前も勝手に空きテーブルを見つけて座れば良いと身振りで教えてくれる。

しばらく待っても何もなく、あきらめて店を出る。結局入ったのは韓国焼肉の店。最初は不愛想だったスタッフも途中からやさしくフォローしてくれた。取り放題の副菜がとても美味しく満足した(値段は25リンギット:約1000円)。

歩きまわってもどうにもならない事がわかったので、めばしい見どころを探す。プラナカンマンション。19世紀に建てられたそうであるが現在は博物館?という触れ込み。確かに見事な展示物であったが、中に入ると着飾った女性が多くポーズを決めて写真を撮っている。

なにかの撮影か?と思ったが多くのスマホで撮影している。

ん?何、コレ・・・

帰ろうとしたときにやっとわかった。建物の敷地内にお土産物などが売っている店があり、そこで衣装を貸し出ししている、美容師もいて化粧やヘアスタイルもいて、たくさんの方が品定めをしていた。ここで化けて、いわゆる映え写真を撮るらしい。

入場料は30リンギット(1200円)。これで財布の中はスカスカ。grabでの移動はカード払いだし、geminiは1日5000円だと言っていたのでカード払い中心であれば現金が必要なのはホーカーだけと思っていたが全然足りない。

街中の両替店で+3000円を両替。

日差しが強いのでgrabタクシーで帰ろうと思ったが次の見どころまで1km強。15分ほど。次の見どころは教会。真っ白で美しいがまばらな観光客だけ。次はシティホール、次は要塞、その次は時計台、観音寺、モスク、、、と回ったがどれもこれも徒歩圏(800m~1.5km)。結局、歩き回って汗だく。

ホテルに3時前にもどり、シャワーをと思ったがタオルが無い。フロントに言うと、ちょっと待ってくれすぐに持っていく。というので待っていたがいつまで待っても来ない。

1時間ほど待って再度フロントに言うと、7時に業者が持ってくる。という。頭にきて、何とかならないのか？という。と予備の物を持っていく。という。更に30分。来ない。再度苦情。5分以内に持ってくるという。来ない。結局2時間。

シャワーを浴びて、街に出る。

ホーカーでの食事が目的。

ホーカーというのはごった返した夜市のようなものをイメージしていたが、バラックの中で露天営業している店が何店か集まった物の様だ。

注文方法が分からない。

店頭に貼ってあったメニューを撮影して指さす。

真っ赤なラーメン。食べ始めるとおばさんが何か話しかけてきた。店のスタッフで飲み物はいらないのか？と言っているらしい。ジュースという言葉が聞き取れたので、ジュースというとサイズという。

どうせならビールと思って、ビールはあるか？言ったらタイガー？と聞き返す。ラーメン10リングット。ビール10リングット。ビールは高いと聞いていたが、セブンイレブン買ってもビールは9.5（約400円）。

ラーメンは辛かったが、少しエビの風味がとてもよく、かなり美味しかった。ビールもキンキンで大満足。

街はヨーロッパ系や中国系、東南アジア系と思われる観光客がかなり歩いている。みんな疲れた顔をしている。暑い、埃っぽい、うるさい。

2月 03, 2026 6:50:16 AM

米田 健二さんが写真を追加しました



モバイルアップロード

マレーシアのペナン島に到着。2000円だけ両替。余っていた2シンガポールドルもリングットに交換。スモール ノーツ ブリーズと言って細かいお金にしてもらう。こういうところがATMより便利。それでもバス代の小銭が足りなかったでキオスクで水を買う。空港から出ると運よくバスが止まっている。路線バスに乗るのがなぜか、楽しい。コムタ？と運転手に言うと2.7と無愛想。3RMを箱に入れたが釣りが出ない。これがルール。東洋の真珠、ジョージ・タウンを目指す。

マレーシアのペナン島に到着。2000円だけ両替。余っていた2シンガポールドルもリングットに交換。スモール ノーツ ブリーズと言って細かいお金にしてもらう。こういうところがATMより便利。

それでもバス代の小銭が足りなかったのでキオスクで水を買う。

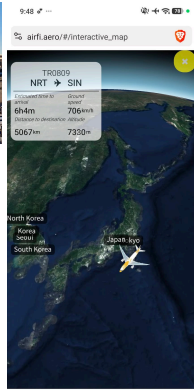
空港から出ると運よくバスが止まっている。路線バスに乗るのがなぜか、楽しい。コムタ？と運転手に言うと2.7と無愛想。3RMを箱に入れたが釣りが出ない。これがルール。東洋の真珠、ジョージ・タウンを目指す。

2月 02, 2026 11:39:04 AM

米田 健二さんが写真25件を追加しました。



モバイルアップロード



モバイルアップロード
scootの機内には座席モニターがない。スマホを機内モードにして機内wifiで専用サイトに接続。地図やゲーム、食事の注文が可能。



モバイルアップロード
シンガポール チャンギ空港のjewelの滝



モバイルアップロード



モバイルアップロード
シンガポール中華街付近



モバイルアップロード



モバイルアップロード



モバイルアップロード



モバイルアップロード
モスク 中に入ることができる



モバイルアップロード
アラブストリート



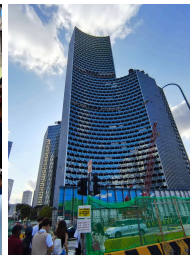
モバイルアップロード



モバイルアップロード
アラブストリート 通路の上の布が有名？
(旅行ガイドに掲載されている)



モバイルアップロード



モバイルアップロード



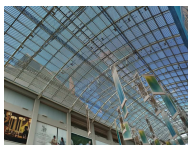
モバイルアップロード



モバイルアップロード
モスクに入るときに手荷物はここへ置いておく。右端が私のザック。モスクを出てここに置いたことを忘れて地下鉄に乗ろうとした。放置時間30分以上。なくならなくてよかった。



モバイルアップロード
マリーナベイサンズの地下 川があってベネチアで見たコンドラ（ボート）をかなりしょぼくしたような船がある



モバイルアップロード
地下から見上げるとベイサンズのビルが見える



モバイルアップロード
マラーイオン、ベイサンズ付近



モバイルアップロード



モバイルアップロード
シンガポールの象徴マラーイオン



モバイルアップロード



モバイルアップロード



モバイルアップロード
ホーカー（屋台）

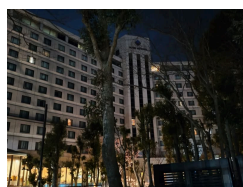
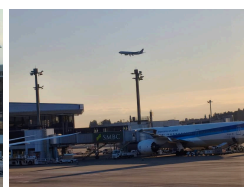
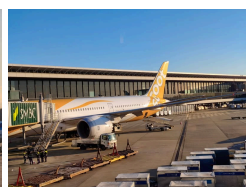


モバイルアップロード
ホーカーで食べたもの（料理名不明）この店は誰も並んでいなかったのに、人気の店だったようで食べ終わるころには長い列ができていた

シンガポールに到着。7時間半。LCCなので機内食もなし。眠れると思っていたが30分程度の浅い睡眠が2回ほど。時間を借しんでjewelを通り過ぎMRTへ。クレジットカードをスイカのようにあてるだけ。便利だ。チャイナタウン、モスク、アラブストリートと歩き回る。モスクは男性で短パンでなければ中にはいれる。裸足になって足を洗って入る。大きな荷物は持って入れない。モスクを見学してアラブストリートを見ながらMRTの駅へむかう。そこでやけに身軽であることに気付いた。ザックを持ってくるのを忘れた。灼熱の中を走ったのは応えた。マリーナベイサンズ、マーライオンとひたすら歩き、お目当てのホーカーセンターに着いたのは8時を過ぎていた。脚がピクピクと今にも攣りそう。汗もかいた。ぐっしょりしている。空港に戻ってラウンジに行こう。ビールが先か、シャワーが先か、

2月 01, 2026 10:12:13 PM

米田 健二さんが写真4件を追加しました。

			
モバイルアップロード ホテルミツイズプレミア成田 この駐車場に車を預けてシャトルバスで成田空港へ向かう（7日間2500円と安い）	モバイルアップロード	モバイルアップロード	モバイルアップロード 往路はscoot。LCCなので機内食はない。持ち込み荷物が10kgと他の航空会社より制限が緩い（ふつうは7kg）

朝2時半起床、3時出発。
いつものホテル ミツイズ プレミア成田の駐車場に車を置いてホテルのシャトルバスで成田空港に向かう。
空港近くの民間駐車場より便利で格安。
8:50発の便だけど、上尾からは始発に乗っても間に合わない。午後便にすると到着が夜になるので、成田まで車になってしまう。

チェックインカウンターは5:50から受付開始。すぐに終了。エコノミーなので席を選ぶといくらか課金されるらしいが、取り敢えず「通路側空いてますか？」で通路側の席をGET。
保安検査場は7:00から。暇。

保安検査、出国審査と淡々と済ませる。なんとなく緊張。

空港は見晴らしがいいので外を見ていると飽きない。
離陸まで 1 時間。起きてから5時間。乗るまでが大変。

2月 01, 2026 4:54:20 AM